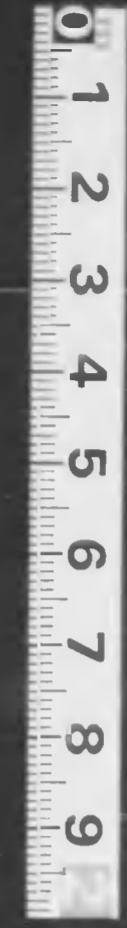


情 報 局 編 輯  
八 月 十 九 日 第 二 百 四 十 七 號

寫 真 週 刊



輾轉と戦車のキャタピラが

亞歐の大地をゆく 樞軸軍萬歳

利己と欺瞞と掠奪の上に築かれた

舊い秩序の世界を踏みにじり

やがて新しい世界が築かれよう

第二戦線、そんなものは引かれ者の小唄だ

米英よ、今こそ思ひ知るがいゝ

東亞に歐洲に樞軸鐵壁の陣は更に堅く

熾烈な戦意は眞夏の陽光と燃え上つてゐるぞ

「時の立札」は地へ神威その地に御利用下さい

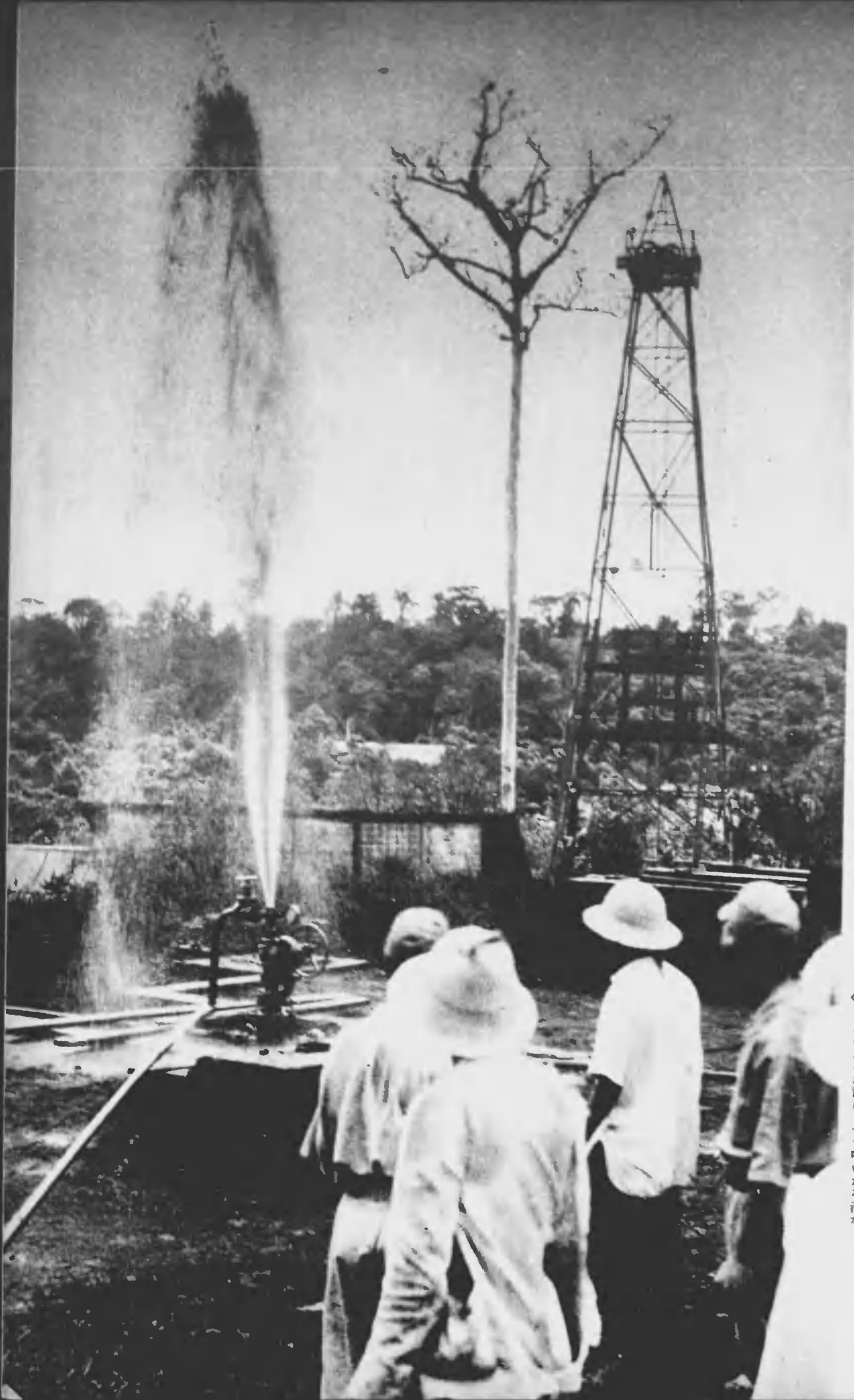
# 必勝石油態勢成る

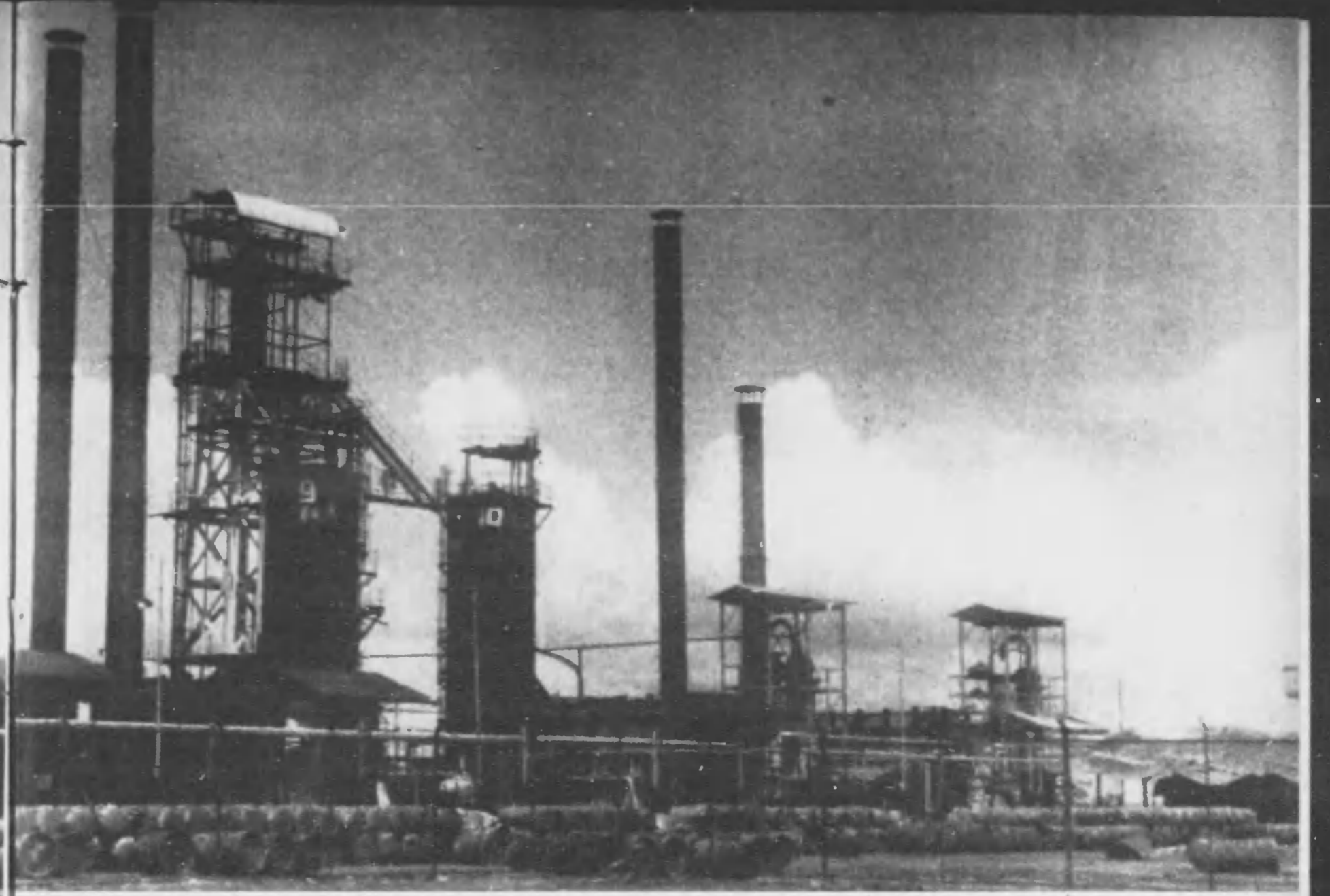
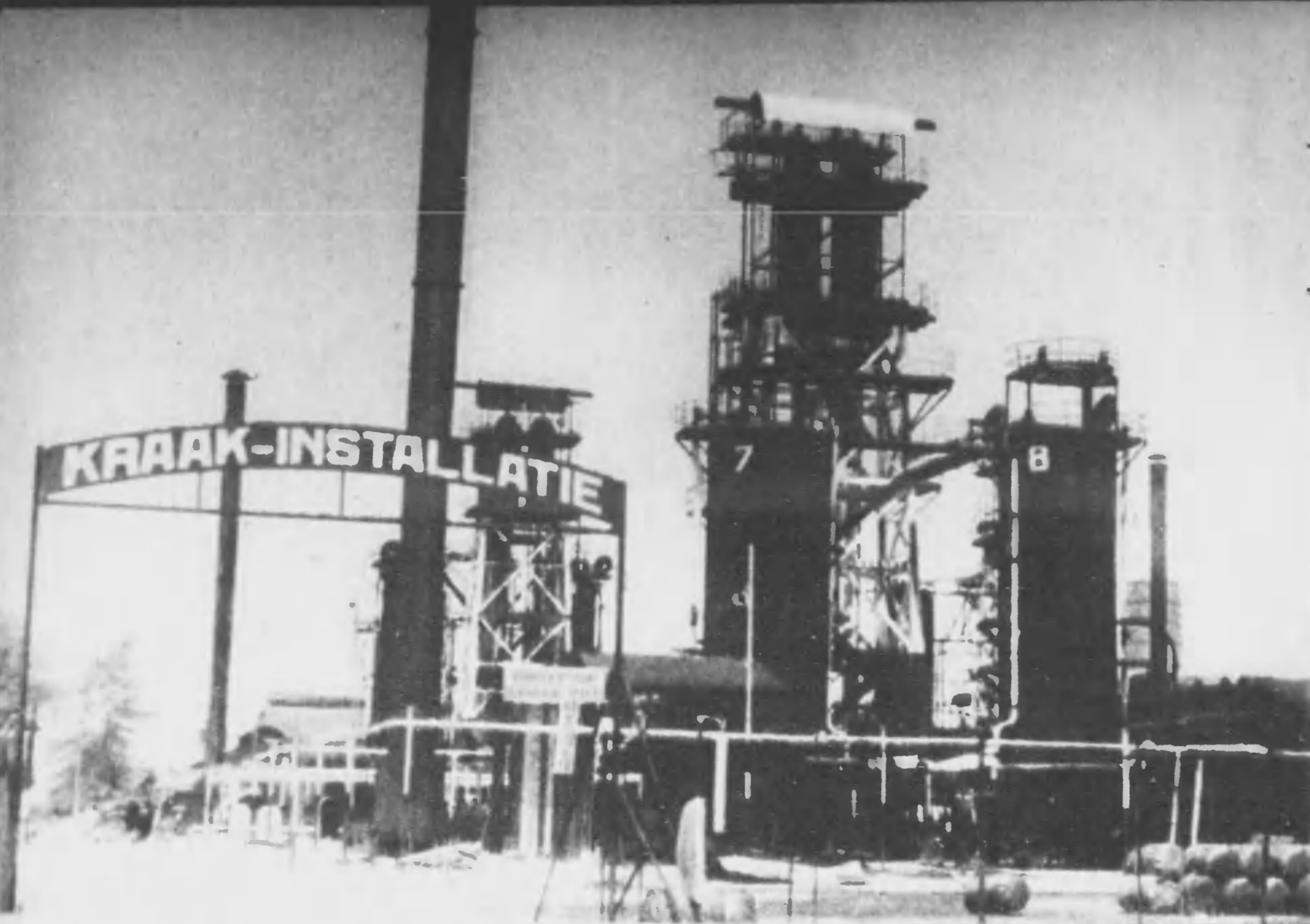
ボルネオ 撮影 佐伯海軍報道班員

かつて英國の前陸軍參謀長アイアンサイドが「日本がボルネオを抑へた百年戦争どころか三百年戦争も可能となる」といつたさうだが、石油の島ボルネオを治下に収めた皇軍は、蘭印軍の焦し戦術に堪へたが、石油の街バリックパン、サングランガ、スンボチャ等の油田の復讐を晝夜兼行で急ぎ、ここに「晝寝などない」南方住民の新しい姿が見られる

ボルネオばかりではない。スマトラ、ニューギニアなどの世界的な油田の復讐工事は日一日と進み、その採油量の目安も大方ついたのに勢を得た現地軍は戦前の産油量をはるかに凌ぐと、既存油田の採油は勿論だが未開地の調査などに着手して必勝萬全の策を施してゐる

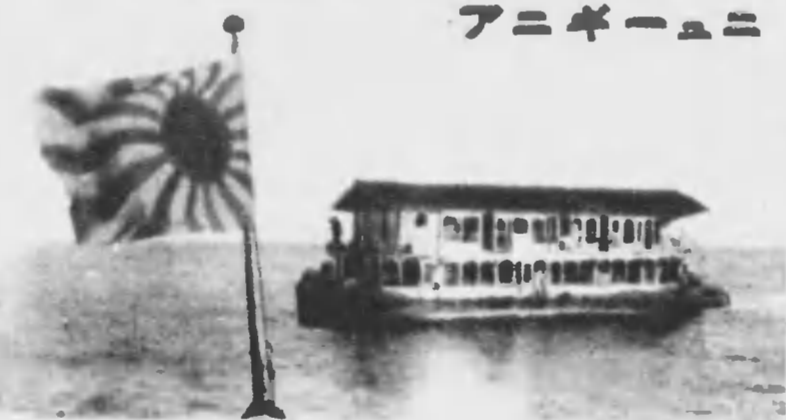
□市軍〇班の活躍によつて噴いたぞ油が





◁わが調査隊は石油試掘坑の地質見本を調べる

撮影 山口海軍報道班員



アニギューニ

◁石油調査隊はハウスボートで



◁本開の地ニアニギューニには必ず石油が出る。自信に満ちてわが調査隊は密林を縫って進む



◁復興を急ぐ〇〇蒸餾工場 撮影 宮内海軍報道班員 ◁油だ！油だ！油が噴出する 撮影 谷村海軍報道班員



必勝石油態勢成る ボルネオ

◁パイプは繋がれ採油はもう近いぞ 撮影 佐伯海軍報道班員

# 冬も前進するドイツ軍

前線を進む泥と雪。だがこれらの困難を突破して



前線を進む泥と雪。だがこれらの困難を突破して死闘の行はれたと



燃える村を襲撃し、機銃部隊の猛射がつけられる



前冬惜しくも戦果には、また、忍苦の冬を越つた盟邦ドイツ軍は、度々戦況が不利な如き進撃を止め、戦線の戦果に時に応じて強力な反撃戦を繰り出すことになり、以下盟邦軍の戦果を報告する。

ドイツがケルチ、ハリコフ作戦について東部戦線の南端、及び中部地区即ちドニエプ川沿岸に攻撃作戦を開始したと発表したのは七月一日であつた。それから僅かに四週間を経たのちに、ロストフ陥落、ドニエプ川の成功、といふ相つた戦果をもつてこの作戦の大目標は達せられたのであつた。この作戦を概観して、露及び米英の意向と希望が如何に徹底的に粉砕されたかを見ることにしよう。

ドイツ軍の士氣と戦力力は、ソ聯の嚴冬の寒風と天候不良によつて著しく低落してゐる。昨夏のやうな大々的な攻撃作戦に出ることはとてできないといふのが、この六月末頃までのロンドン、ワシントン方面の観方であつた。ケルチ、セバストポリのドイツ軍の勝利に對しても、これがドイツ軍の發揮し得る最大實力であつて、直ぐに次の作戦に移つて戦果を擴大すること等は到底不可能であると信じてゐた。更にハリコフ攻防戦でモシエンコ將軍麾下の三面軍團が大破滅をかうむるといふ慘敗を喫してさへも、ドネツ作戦の開始の可能を信じようとはしなかつたのである。但し、この考へ方の陰には、米側の獨りよがりな對ソ武器援助の強化とこれによるソ聯軍の抵抗が充實といふはかない期待がかけてゐたのである。

しかし英米のこの期待は全く裏切られてしまつたのである。即ち六月末から七月にかけてのハリコフ、クルク地方に開始されたドイツ軍の快速撃は、數日にしてハリコフ河を越えてドニエプ川に殺到し、ロシ及びヴォロネジの両市をその手中に收め、二百キロに及ぶ戦線正面幅を持ちつ、ソ聯陣地奥深く突入、攻撃作戦の續行と擴大に有利な態勢が形成されることになつた。この北側突入翼と北方ヴォロネジは直ちにドニエプ川沿岸地を確保することに役立つのである。即ち北方からの赤軍の絶えざる反撃を撃退しつゝ、主力を東南方に轉せしめ、ドニエプ川沿ひに

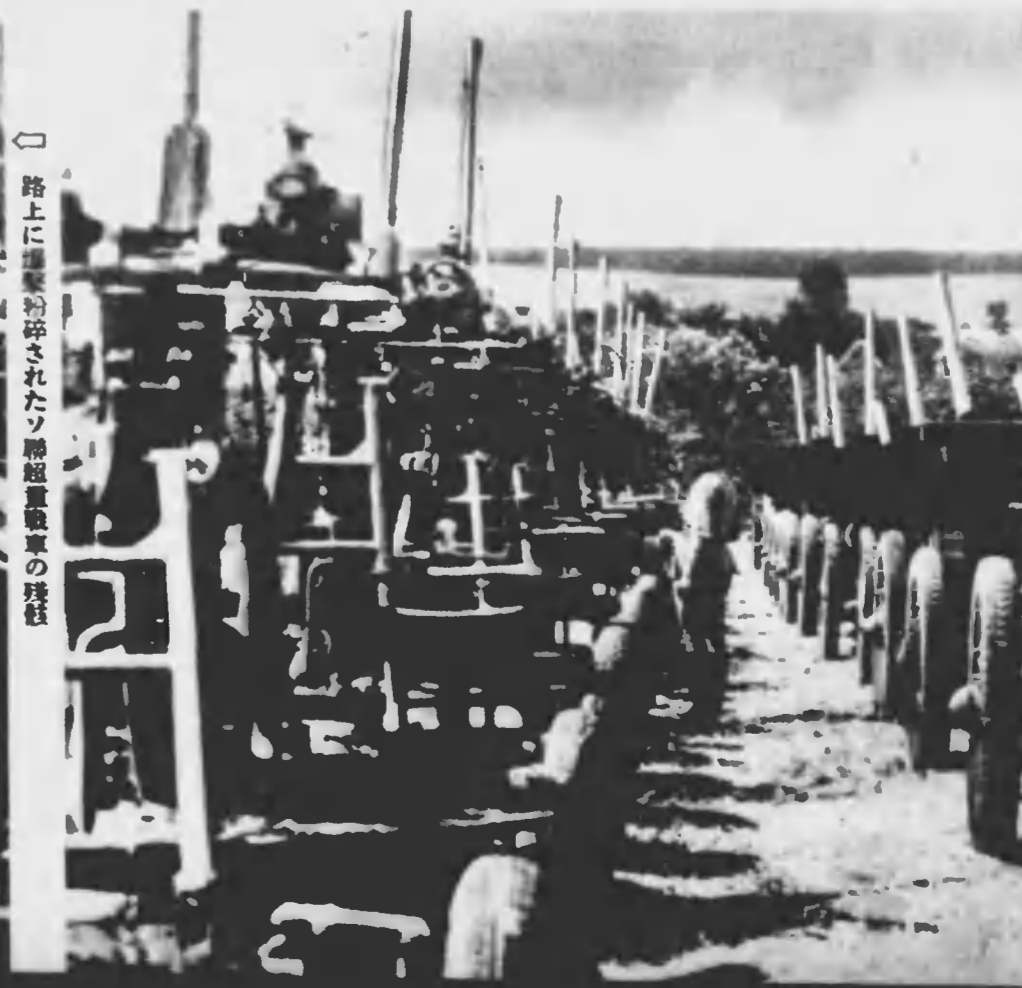
スターリングラード方面に衝かしめることに成功したのである。つまり赤軍は先づ強力な大部隊をもつてドニエプ川の北側陣地とヴォロネジに對して數次に汎り猛烈な攻撃を加へたが、いづれも不成功にをはり強固な打撃をうけてゐる。この戦況に赤軍が如何に懸命なつたかといふことはその兵力によつても知られ、七月十二日の戦闘だけで赤軍戦車百十一輛が撃たれ、七月十三日にはドイツ軍戦車部隊が猛反撃を敢行して、敵の有力戦車部隊を捕獲し、二日間にもわたる激闘の後、これを殲滅、この戦闘でも敵戦車百二十五輛を撃破してゐる。この決定的な反撃成功以後、赤軍はその攻撃の全力をヴォロネジに集中した。かくて北側防衛支柱としての任務を果した。この防衛支柱があつたればこそドニエプ川沿岸に成功した快速機械化部隊は、背後、側面からの敵の打撃を受けることなく敗走する敵師團を東方へ追ひ、未だドネツ河西岸に布陣してゐた敵前線を海き、東部への退路遮断に成功したのである。この快速機械化部隊が南側敵戦線の背後に姿を現はした瞬間に、ドイツ及び同盟軍はドネツ河西岸の正面攻撃を開始し敵を東方へ撃退した。かくてドネツ川下流の西方及び北方地区の赤軍部隊は二つの攻撃戦線に挟撃されることとなり、ヴォロネジ、ロストフの二重要都市の陥落となり、ドニエプ川沿岸の全地域は確保されたのである。

六月二十八日ハリコフ、クルクスの西方に開始された作戦の進捗に伴つて、南方はアゾフ海にまで擴大せられた攻撃作戦は多大の戦果を挙げつゝ、すでにクバン河上流に到達したと傳へられ、ソ聯の誇る軍需工業の重要中心地帯、豊饒な農耕地は機軸車的手中に收められ、北コーカサスの諸門を扼せんとしてゐる。たとへその軍需工場は大部分は破壊されてゐたとしても、ソ聯の戦車生産には多大の支障を與へるものであり、戦時上重要地帯を確保して赤軍軍需力の培養源を遮断せんとする獨軍作戦目標を達しつゝあるものといふことができ、このドニエプ川の戦況こそ獨ソ戦において重要段階を劃するものといふことが出来る。

第二戦線の即時結成を要求するソ聯救援の聲は益々切實な極めてゆき、且つ絶望的な響きを帯びてきてゐる今日、ロンドン、ワシントンにおいても、この絶望的な冒險を敢へてしてまでソ聯援助に乗り出

## 死闘をつゞける獨ソ戦線から

前線に集められたソ聯戦車部隊



路上に擧げられたソ聯戦車部隊の残骸



ソ聯兵にまで救援の手をのべるドイツ軍





# 宿敵英國へ今インドの弾

昭南島にインド兵の砲術訓練



ハリケーンも来い！スピットファイアも来い！今こそこの腕に物見せてくれん  
測距器のあつかひ方も覚えた。着弾の様様いかにと敵陣を直ぐ入るやうに凝視する

撮影 陸軍報道班

こゝ昭南島<sup>サウサンプラ</sup>の一角では連日、百數十度の炎熱下、白ターバンもクッキリと鮮やかなインド兵が砲術訓練に餘念がない。彼等はかつて英の策謀に躍り、日本軍に對して砲門をひらいた。しかし今日、彼等は日本の企圖する真意が何であつたか、はつきりと理解できた。そしてその日からいつかりと新しい希望が生まれた。米英の極格を拂ひのけたインドの完全獨立<sup>フル・インディペンデンス</sup>これだ！俺たちが命を投げ出すのは——發必中の訓練はおのづから身が入つて明日のインドが大きく彼等の双肩にかゝつてゐる

ガンヂーの提唱する英國政治勢力の即時インド撤退要求は八月七日、八日兩日にわたつてワルダに開かれた國民會議派全即委員会で壓倒的大多數を以て決議され、全インドの血を沸き立てて反英抗爭に移つたが、暴慢なイギリスは九日突如、國民會議派の領袖ガンヂー、ネール、アザドら二十名を逮捕、投獄したと傳へられる。しかし各紙報道部長の言明にもある通り、インドが東亞共榮圏の一環としてアジアのインド、アジア人のインドとならざる限り日本は武力も辭さないわけだ。今やインド百年の將來を決する絶好の機会がつひに到来してゐる

第一弾は目標をもつとはづれた。砲術所からいとはやく電音連絡がなされる

くほんた眼でじーッと照準をあはせる。手鼓のほともなかなかことだ



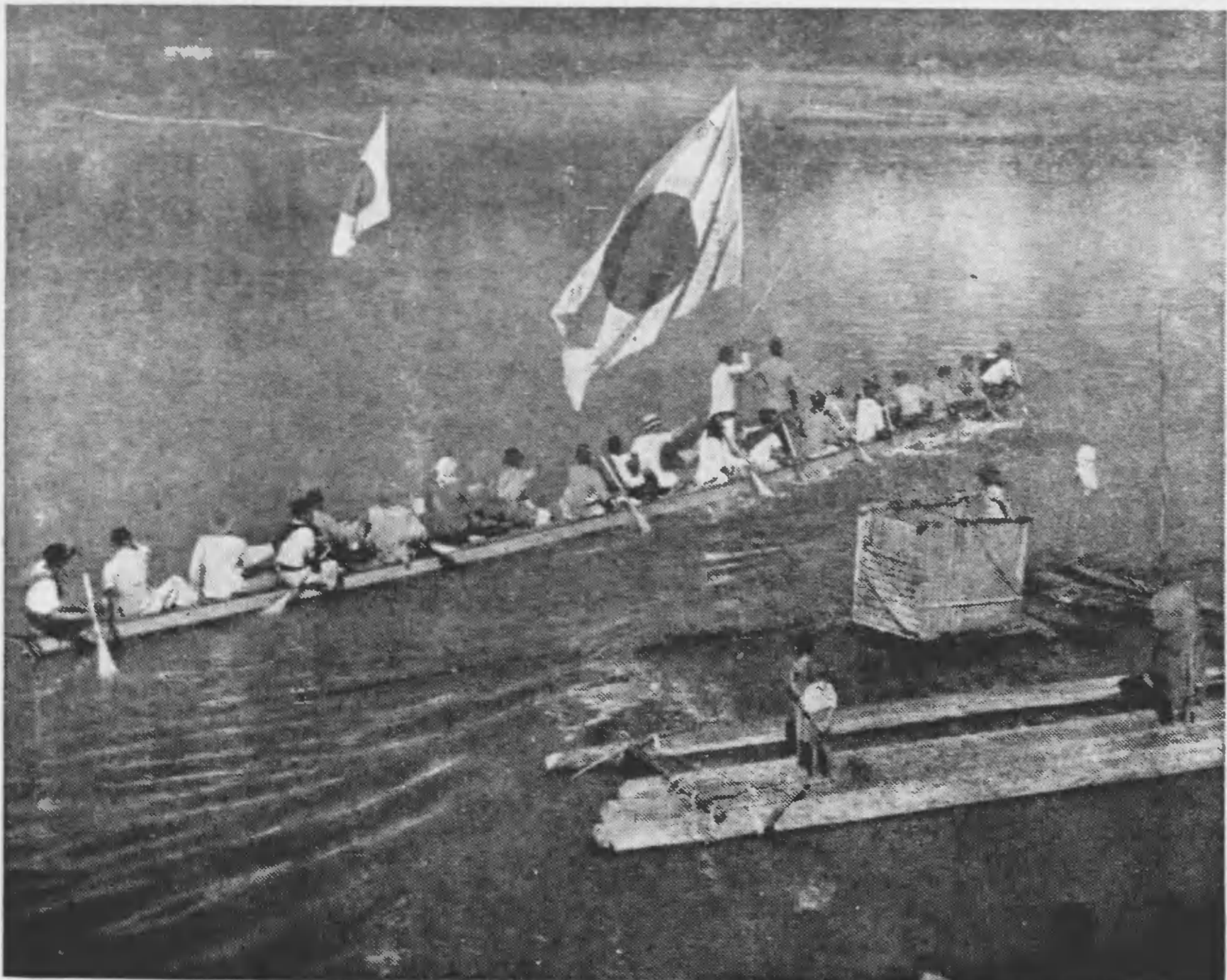


# ラ朗々譜

は織り家内工業として一般に行はれてゐる。美しい晴着のサロンが器用に出来てゆく。

撮影 陸軍報道班

石油、ゴム、錫をはじめ、地下埋蔵資源や農産物にのみまわらぬスマトラは、かつて英印政府のドム箱であつた。こゝに住む原住民に對するその壓迫や擄取は、痛辣をきかしてゐた。皇軍がこゝを占領するや、軍は直ちに布告を發して民心の安定をはかるとともに、油田設備の修復、地下資源や農耕地の開発、湿地帯の開拓、棉作地の再開等、再建スマトラの建設工作を始めた。住民たちは一せいにこれに協力した。軍政下、治安を回復したスマトラの歩みは、一歩一歩進んでゆく。あらゆる建設部門には、日本の新實を齎つたこれら住民たちが、心と汗を流してゐる。



# 再建スマトラ



情緒豊かな古式舞踏衣裳をつけたスマトラの舞姫

私たちに今日の幸福を下さつた落下傘の勇士たち。レパンの子供はその前で日本式におじきをする。

子供たちは兵隊さんが好きだ。兵隊さん、子供たちが好きだ。もうこゝには連成日本語學校が開校されてゐる。

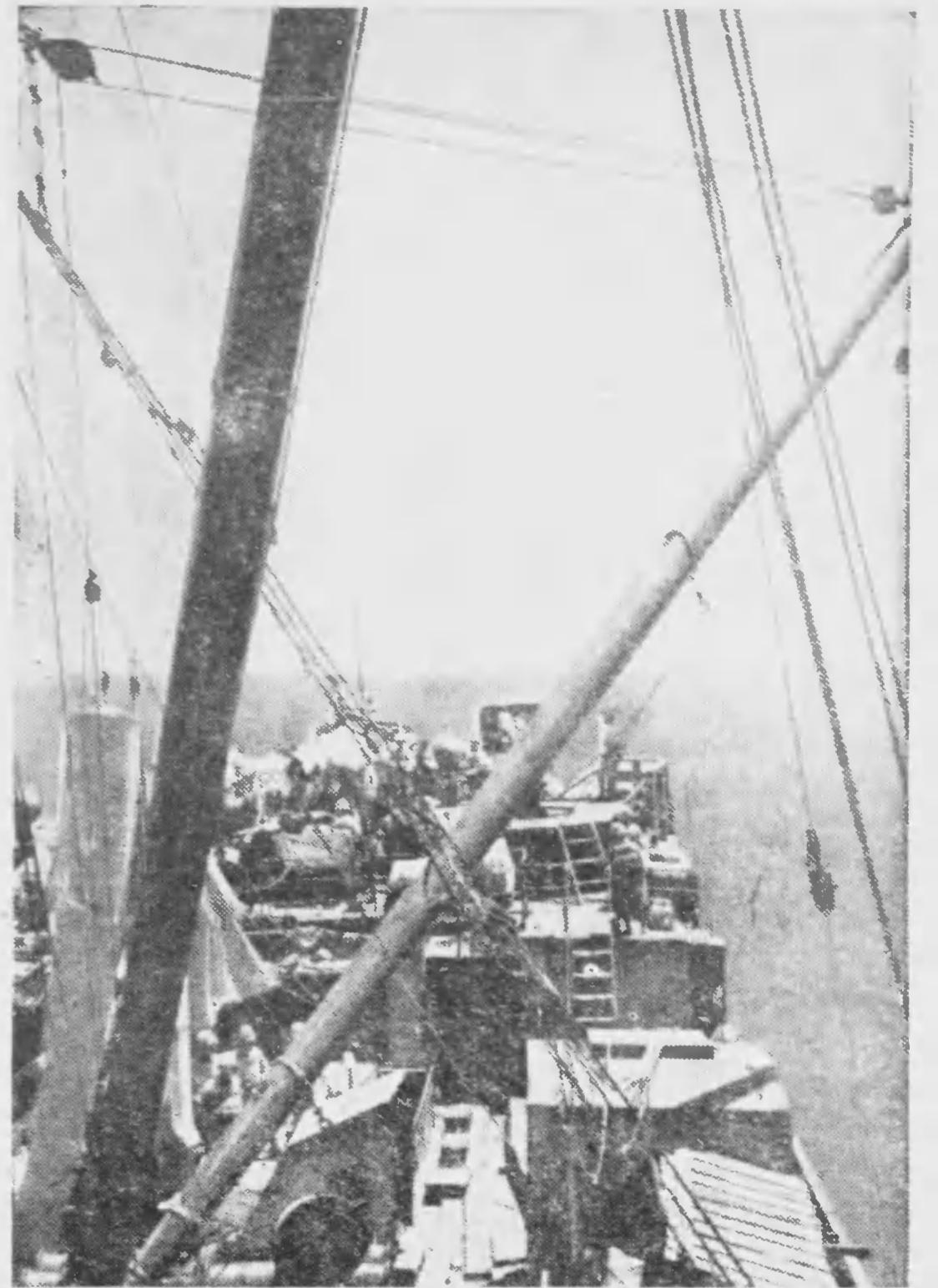




# 敗殘米比軍に鉄槌

比島レイテ島に  
敵前上陸

レイテ島の敵前上陸



班道報軍陸 影撮

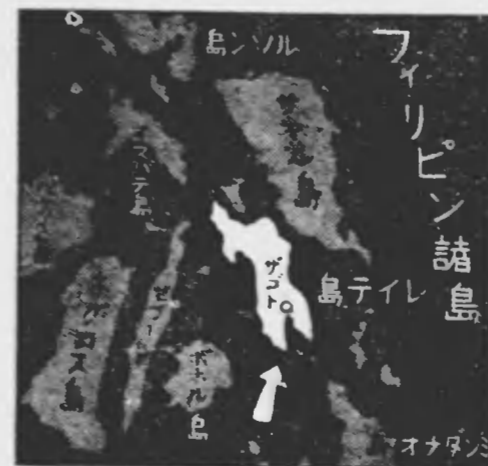
心進は動機艦舟の軍陸がわてしとめ島テイレ ↑



比島兵俘虜  
續々投降してきた俘虜の氏名誌呼



或ひはイロイロの軍事基地を逃れた米比軍が、こゝに多数屯してゐたからである  
皇軍がレイテ島に上陸したことが島内に知れ渡ると、敗殘の米比軍は戦ふ氣力もなく續々と投降してきた。こゝに皇軍のレイテ島無血占領は成つたのである



わが陸軍部隊はこのほどフィリピン諸島のレイテ島を攻略した  
レイテ島はセブ島の東にある小さな島で、木材の産地として知られてゐる。この島を皇軍が攻略したのは、マニラを追はれ、パタアンを逃れ、

## 大東亞戦争日誌

一八 月

- 四日 ●海軍は七月二十日未明南洋西海軍中部の要衝ポート・ヘッドランドを攻撃し、敵航空基地ならびに施設各所に損害を與ふ
  - 六日 ●海軍は七月三十日アラフラ海(ニューギニアとオーストラリアの間)北方アル諸島、ケイ諸島ならびにタニバル諸島各要地を攻略
  - 九日 ●海軍は八月七日以來ソロモン群島方面に出現せる敵米英聯合艦隊に對し猛襲を加へ、敵艦隊ならびに輸送船團に壊滅的損害を與へ、目下攻撃續行中、本日まで判明せる戦果  
(一)撃沈艦艇：戦艦三隻、重巡洋艦二隻、駆逐艦二隻、水上機母艦一隻、甲艦艇十隻以上  
(二)撃破艦艇：甲艦艇三隻、乙艦艇三隻以上、輸送船一隻以上  
(三)空襲による撃破飛行機：戦闘機三十二機以上、戦闘機九機以上  
なほ本攻撃におけるわが方損害、飛行機自爆七機、巡洋艦二隻輕微なる損傷を受けたるも、敵艦隊に損害をなしたし
- (註)本海戦をソロモン海戦と呼稱



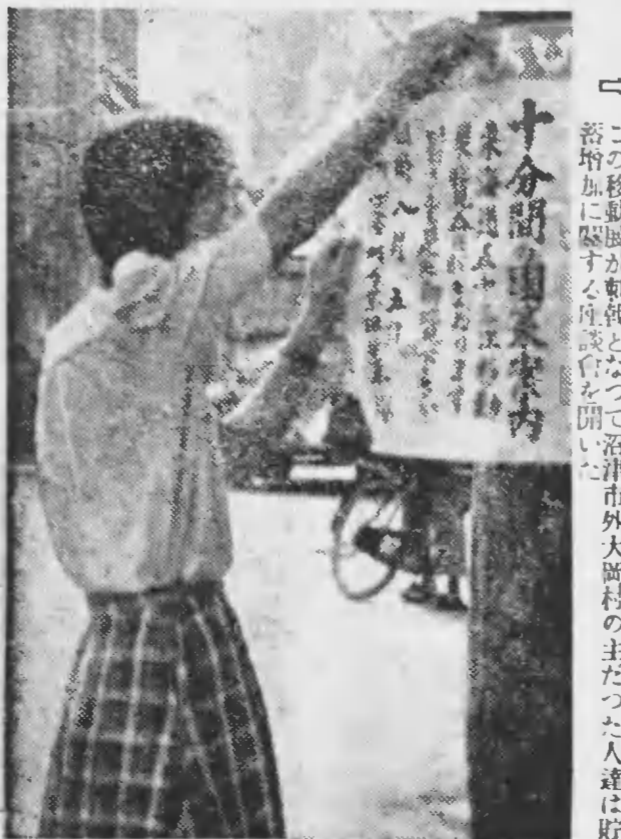


# 十分間の國策案内

## 後動展五十三次



徒後はしつかり  
 頼みますぞ、と前  
 線の兵隊さんは嚴  
 ふ傍ら貯蓄戦の戦士として徒後を激勵し  
 てきました。  
 徒後の私たちはこの前線の兵隊さんに  
 應へ、大東亞戦争を戦へ抜くために、奮  
 つて二百三十億貯蓄を達成させよう  
 この貯蓄達成運動の一翼を擔つて情報  
 局指導、大政翼賛會關係各府縣支部共催、  
 讀賣新聞社後援の「東海五十三次移動  
 展」が、三班に分れ、第一班は日本橋か  
 ら熱海間、第二班は三島から名古屋間、  
 第三班は浦河から京都間の各宿場々々で  
 開かれた。  
 リヤカー二家と三名を二班として「貯  
 蓄をしよう」と呼ばか、各班は沿道住  
 民に喜んで迎へられ、異熱を吹きとばす  
 好評を受けた。  
 先づ振出しは、お江戸日本橋から……  
 吉原町信用組合の娘さん、は移動展のポ  
 スターを街角に貼つてお手傳ひしました。



品川、鈴ヶ森、川崎などを経て移動展は沼津にたどり着いた。  
 この移動展が制戦となつて沼津市外大岡村の主だった人達は貯  
 蓄増加に關する座談會を開いた。



〇 物置りのおばさんも羽織さんも着きを忘れて見入る——吉原町



〇 吉原町信用組合前を居場所として店を開いた。町民は噂ひ入る  
 やうに一枚々々を丹念に見る  
 五十三次を次から次へ、大活動物替つて一浪のリヤカーは  
 パンクし、これに代つてグットサンが運搬の代役をつとめる

# 吾妻艦の上の学徒

## 海洋教練

—— 鶴 舞 ——

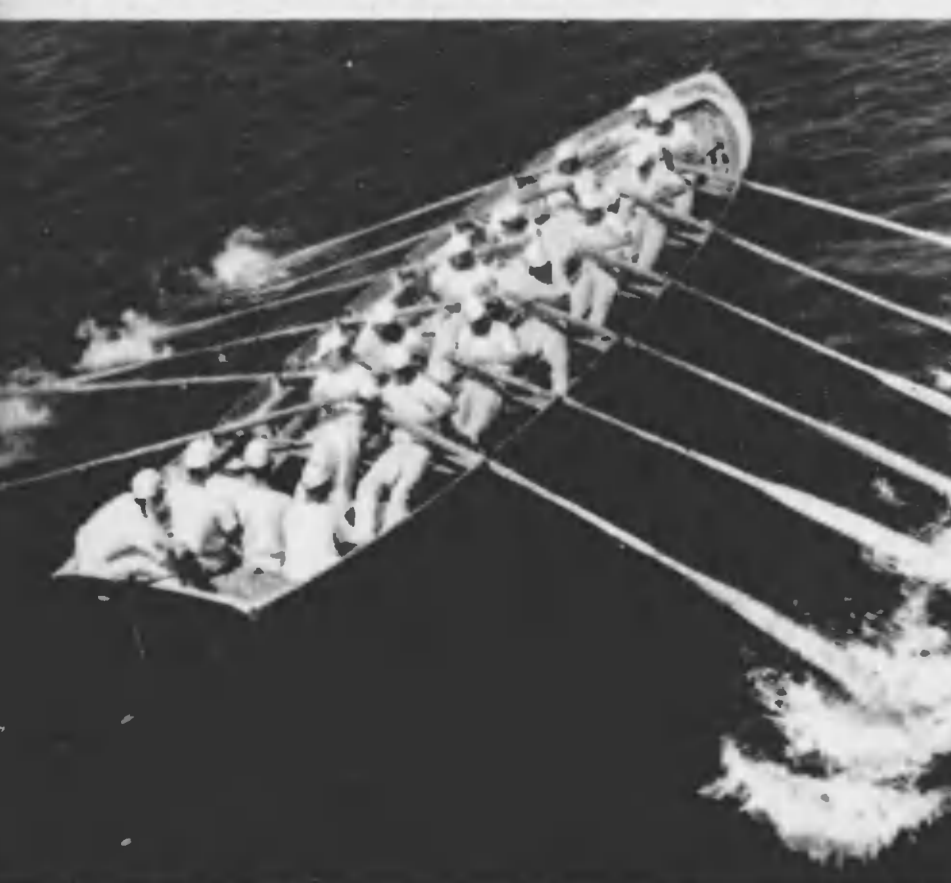
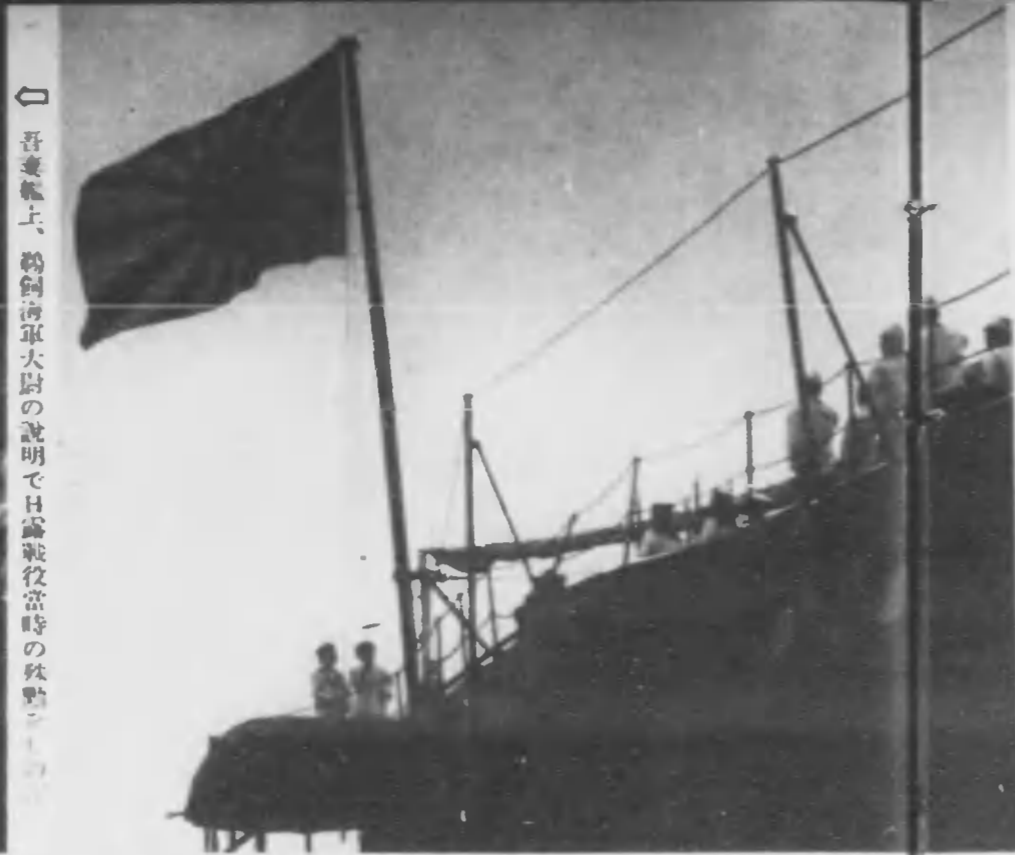
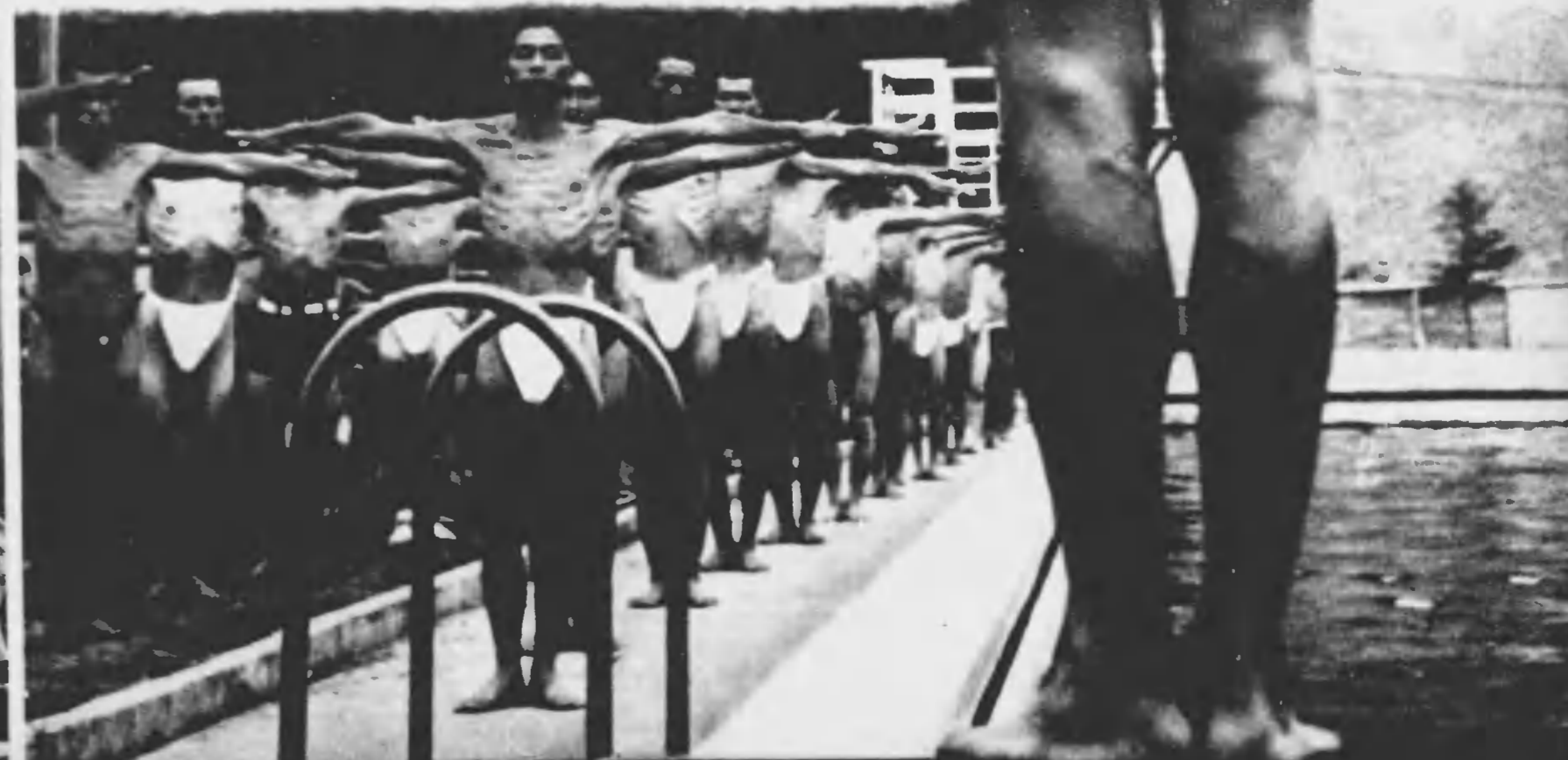
学徒に海軍魂をふきこもうと学徒海洋教練振興會主催の全國大學、專門學校學生に對する海軍軍事講習會が日露戰役の武勳艦「吾妻」を中心を開始され、水兵さんと一緒の傳統の猛訓練に酷暑に負けぬ逞しい風景をくり展げた。「課業中はどんなに暑くても海軍では扇子を使つたり手布で汗を拭ふことはいない、整列の號令があつたら駆足で迅速に所定の位置につくこと」等々厳格な規律のもとに短艇漕法、各種信號、結索、游泳、敵前上陸の教練から航海術、運用術、軍事學、氣象、砲戰、水雷戰などの座學にいそしみ、海軍知識と海軍魂を體得したのでつた

午前八時、スル／＼と掲揚される軍艦旗に捧げる敬禮、最も厳格な一瞬、この軍艦旗の下にわれ死なん、じーんと學生達の身は引きしまるのだ

甲板洗方、くつと握つたブラシを通して海軍魂を體得されてゆく  
手旗信號の練習（中下）

水兵さんの號令で游泳前の準備體操も元氣よく

撮影 小石 清



吾妻艦上、鶴舞海軍大尉の説明で日露戰役當時の殊勳

釣針、日等の手で、水兵さんが親切に注意してくれる

乗組員を習得して意氣揚々と學生達のカッターは大海原へ

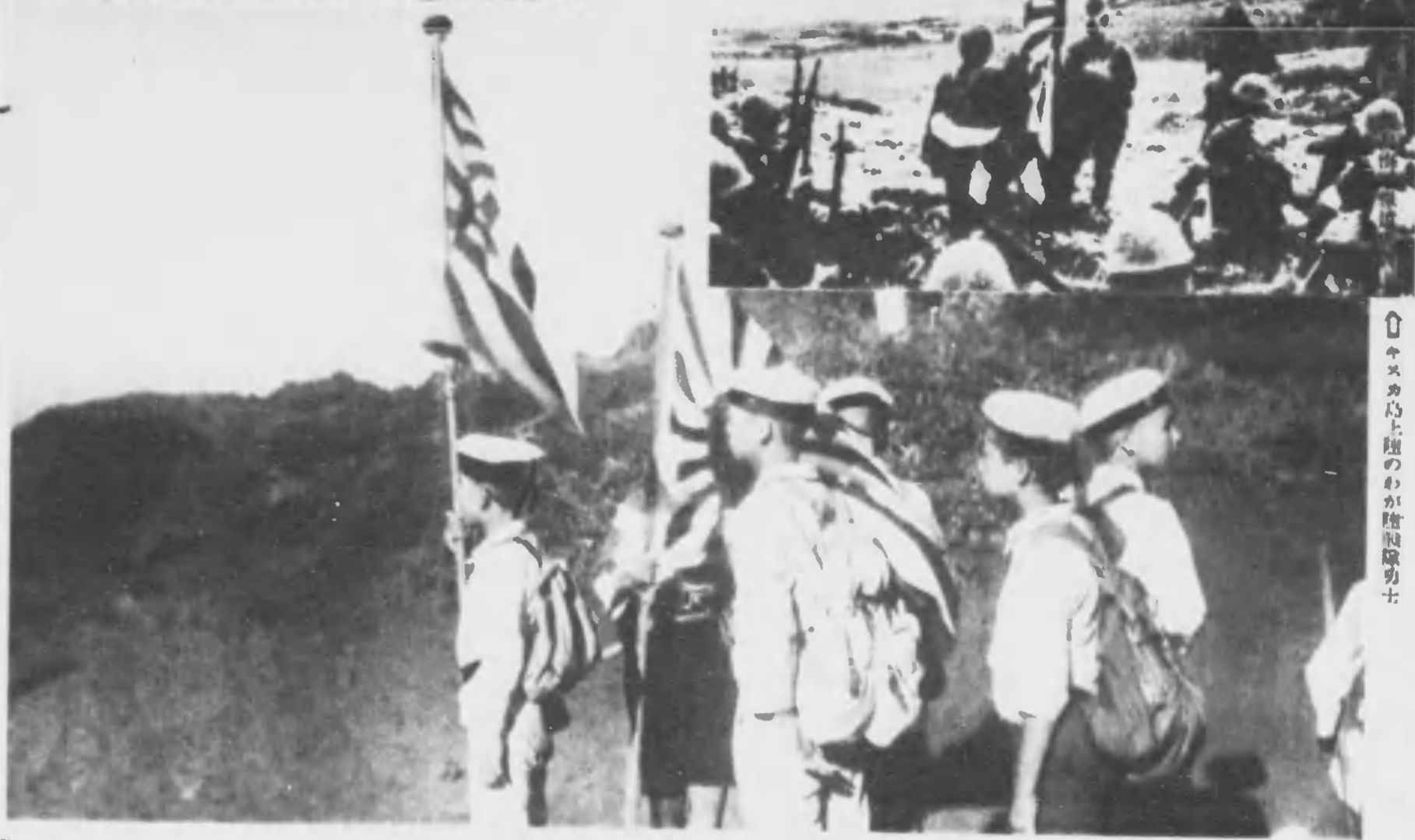
# るぬも子の 空も子の海



杉山陸軍報道班員



〇 硫黄とアヲツ島の雪原をゆく皇軍部隊



〇 アヲツ島上陸のわが陸軍隊員



〇 硫黄と三原山の山腹をゆく海洋少年團の行軍、火山灰の路を一步一歩ゆく少年連はアヲツ島の雪原を憶ふのだ



〇 マレー戦線〇 飛行基地を飛び立つわが飛行機

〇 三原山に鎮座する山々付つた東京海洋少年團の少年連、その跡にはアヲツ島の宗艦隊が映る



〇 ランゲーン目指すわが機小部隊

訪日圖漫争戰亞東大  
介進 川石



アキラトス



丸田館



戦艦艦隊空米文在江林江 陽産



人編二軍海一ノ號ソラ艦砲米



戦狂の偽戦謀暴 産政ノ



面位三藩府の兵將臨前光二後鉄



照準

押へ込み長期戦



船上山に名和公連場

島取 正井 君

日本海をすぐ目の下に隠岐島をはるかに望む建武中興の發祥地島取縣船上山に、さき頃から縣下青少年團員、學生、兒童らの勤勞奉仕によつて、縣民の練成施設、名和公連場建設が進められてゐましたが、このほど船上山の中心に宿舎を完成、近く山上に講堂もちたてられて忠誠名和公精神を戦時下に顯現することになりました。

夏科平野に稲熱病撲滅

長野市 清水 秀二

長野縣夏科郡農會では、かねて郡下町村の主任技術員をあつめて動力發動機講習會を開き、増産の大敵稲熱病撲滅に萬全の陣を張つてゐたが、晴天高温つづきで稲熱病發生の懸念がいよゝ濃厚となつたので、時を來れどつと繰出した。機動部隊は、村民の協力を得て先づ共和村百三十町歩の水田消毒を手始めにこのほど全郡にわたる大規模戦を開始した。

糧兵制度實施に感謝の軍役奉仕

京城府 京城鐵道寫眞工藝社

夢にさへ願つた徴兵制度も明後年から實施される。その喜びを胸に抱きしめ、やがて帝國軍人の母となるべき日を夢見ながら、京城製花女子專門學校の生徒たちは、いま夏休みを利用して、兵隊さんたちの福祥や下袴の裁縫に熱心なふきとばす懸命な奉仕をつづけてゐます。



復習室

本號からあなたは何を學んだでせうか？

- 1 フロモン海戦の主なる戦果をあげて下さい。(12頁)
- 2 ガンヂェルが主唱するのはイギリス駐屯軍の武力抗争？イギリス政治勢力の即時撤退？イギリスインド總督の更迭？(13頁)
- 3 豊富な油田があるのは「ニューギニア」？「昭南島」？「クリスマス島」？「ボルネオ」？(3頁)
- 4 ドン河、ビルマを南北に流れ、流域は水の産地？「アンラカ」第一の大河、河口にカイロ市がある？南洋一帯に獨ソの激戦が展開された？(6頁)
- 5 アラフラ海は、珊瑚海の東方？「ニューギニア」？「南洋」の間の？「アリューシャン列島」の北方？(12頁)
- 6 本間將軍はどの方面の最高指揮官ですか？(11頁)
- 7 ネール、アザット、これらの人は「エジプト軍」の將軍？米誌を傳へらる「マラー」の王様？インドの國民會議派の領袖？(8頁)
- 8 チモン、エンコ、將軍、北阿波線の獨軍最高指揮官？獨ソ戦線に奮闘するソ聯指揮官？略に上る英第二戰線總指揮官？(6頁)
- 9 マニラの街で交通機關として一番便利を利かせてゐるのは「勿論自動車」？それなら「速く」？「遅く」？(14頁)
- 10 皇軍がこのほど攻めたレイテ島はどの邊にありますか？「フィリピン」諸島の一つ？「ソロモン」群島の一つ？「アリューシャン」列島の一つ？(12頁)

一問十點としてあなたは何點でしたか？

所 達 申	價 定
全國各地官報販賣所	部十錢(送料一錢)
書店・驛賣店	(外埠郵送に依り地域)
新聞販賣店	▲郵約配送希望の方は
寫真材料店	部十錢(送料一錢)の割
	合を以て前金を請へ御申
	込み下さい
	▲特人號の場合は其の郵便
	御拂込金より差額を申受
	けます

寫眞週報(兼雜誌)

昭和十七年八月十九日印刷發行

情報局

内閣印刷局

★表紙

「はんだ」の奥から  
「敵陣」をこぎ、敵陣を  
「また」まじい腕にはガツチ  
「リ」をアアに目撃した船長が  
「入」つた。完全獨立を目ざして  
「イ」く他兵隊の訓練は、  
「一」貫制である。昭南島にて

撮影 陸軍報道班

写真週報  
昭和十七年七月二十三日  
東海銀行  
貯蓄  
後進の意気を



# 東海銀行

本店.名古屋

内閣印刷局印刷發行

(別冊紙張-A4倍規定幅はきり大の書本)